

上島町の皆さんこんにちは！

弓削・生名地区担当ALTのリム・シーウェイです。

「なぜ学校で働きたいの？」

一年前、上島町で仕事を始めた時に弓削中学校の生徒にそう聞かれました。答えは簡単です。

「学校生活は、最高ですから。」

私は今もそう思っています。学校に行くとなくさんの友達に会えるし、何かに一緒に参加すると楽しくなるし、友達との話も尽きません。宿題がしんどくても、勉強して疲れても、次の日にまた友達に会えることを楽しみにしています。そういう経験ができるのは、学校の先生方が色々な活動を考えてくださるお陰です。私は、小さい時からずっとそういう人になりたいと思っていました。生徒たちが学校で楽しく学べるように、成長しやすい環境を作るために働きたいです。

先生の仕事はとてもやりがいのある仕事ですが、寂しい仕事でもあると思います。新しい年度の初めに、初めて会う生徒たちと仲良くなれるように頑張っています。年度途中になると、生徒たちが色々なことに挑戦し成長できるように様々な活動を計画します。そして、毎日同じような授業にならないように、おもしろい授業内容を考えています。先生は、生徒たちが色々な経験をしている姿を見ると、すごくうれしくなります。年度末には、教員の異動や生徒たちが卒業するため別れがあります。別れは寂しいですが、新学期からの新しい出会いのために頑張ります。

私は、教育の仕事に就いて、今年で十一年目になりました。私にとって、教育の仕事は、もう生活の一部になりました。自分の塾で教えた八年間、そして学校での二年間で、たくさんの別れを経験しました。一番悲しかった別れは、昨年、上島町に来るために退職した学校で担任していたクラスの生徒たちとの別れです。なぜなら、生徒たちにとっては、大好きな先生との急な別れでした。そのクラスの生徒たちは、学校へ「シーウェイ先生を辞めさせないでください」という内容の手紙を書いて送ったり、後任の先生が辞めるように授業の邪魔をしたりしていました。その時、私は、一ヶ月間毎日生徒たちに話をして、辞めてからもカウンセリングのため、毎日インターネットで生徒たちと連絡していました。この一ヶ月間は、生徒や私にとっても辛い過渡期でした。

生徒たちは卒業後、先生や学校のことを徐々に忘れてしまうでしょうが、それは仕方のないことだと思います。でも、卒業後、最初はできなかったことが、自分がその学校に通っているうちにできるようになった過程を忘れないでほしいと思います。成績はもちろん重要ですが、もっと大事なことは人間としていかに成長するかだと思います。私はいつも生徒たちにこう言います。世界中の人々と分かり合えることは有り得ないけれど、合わない人からも何かが学べるかもしれません。ことわざにあるように「人生は一期一会です。」ですから、全ての経験を大切にしてほしいと思います。また、皆さんの心が幸せで満たされても上島町や家族のことを忘れないでください。

出会いは別れの始まりです。もうすぐそれぞれの学校の卒業式ですね。今まで学んだことをしっかりまとめて、自分の夢を叶えるために一歩前に進みましょう！卒業生の皆さん、少し早いですが、卒業おめでとうございます！人生の次のステージで輝けるように頑張ってくださいね。



各地区の英会話教室

《弓削》毎週月曜日 13:30～

弓削地域交流センター第1会議室

《生名》毎週月曜日 9:00～ 生名公民館

毎週火曜日 19:30～ 生名公民館

《岩城》毎週木曜日 20:00～ 岩城総合支所庁舎

《魚島》毎週水曜日 19:30～ 魚島開発センター



平成24年度弓削中学校卒業生からもらった感謝の言葉が込められた手作りの贈り物です。

こんにちは
町長です



私がロードバイク（自転車）を始めて、早3年が経過しました。中村知事はこの自転車を通じて「新文化」として捉え、「健康」

「生きがい」「友情」を手に入れる事ができると話されています。私も体重が十キロ以上減り筋肉質となり、県内外や外国の方々との交流が広がり、自慢できる趣味の一つになりました。

今年は「瀬戸内しまのわ2014」がしまなみ海道を中心に展開され、十月二十六日には、「国際サイクリング大会」も開催されますので、上島町民の皆さんもぜひ参加してください。また、上島町の島々にもサイクリストが多く訪れますので、普段着で接し、声をかけていただけたら幸いです。

私はスポーツの素晴らしさの中に「健康」「生きがい」「友情」の他にも「愛情」があると思っています。お正月恒例の箱根駅伝において兄弟が出場し、先に走った兄が一年生の弟に路上で並走しながら声援を送り、好タイムでゴールした控室に駆けつけ「よく頑張った、良かった」と一人涙を流していました。弟は「なんでお前が泣いてんの」と言っていました。が、自分の事より兄弟を想う、その光景にもらい泣きしてしまいました。

スポーツを通じた家族の「愛情」で、感動と活力を与えていただいた新年のスタートになりました。

上島町長 上村俊之